



2025 年 11 月 7 日

アクサグループ創設者 クロード・ベベアールを偲んで

アクサグループ創設者であり名誉会長であるクロード・ベベアール（Claude Bébéar）が 90 歳で永眠しました。謹んで哀悼の意を表し、その生涯における歩みと功績を振り返ります。

クロード・ベベアール 略歴

1935 年 7 月 29 日、フランス・ドルトーニュ県（Dordogne）イザック（Isaac）に生まれました。エコール・ポリテクニク（École Polytechnique、1955 年入学）およびパリ保険数理研究所（Paris Institute of Actuaries）を卒業し、1958 年ルーアン（Rouen）に拠点を置く「アンシエンヌ・ミューチュエル（Anciennes Mutuelles d'Assurance）グループ」に、アンドレ・サフ・ディザーン（André Sahut d'Izarn）の後継者候補として採用され、その後 1975 年まで要職を歴任しました。1964 年から 1966 年にはカナダに赴任し、アンシエンヌ・ミューチュエル傘下の「プロヴァンス・ユニ（Provinces Unies）」の生命保険部門を立ち上げました。現地での経験を通じて、事業における国際的視野と文化の多様性に対する重要性を認識することとなります。

1975 年、アンドレ・サフ・ディザーンの逝去によりベベアールは CEO に就任しました。同年に経験した厳しい労働争議が、活力ある社会政策の必要性を確信させる契機となりました。

また同年、後に AXA RE となる再保険会社「アンシエンヌ・ミューチュエル・ド・リアシュランス（Ancienne Mutuelle de Réassurance : AMré）」を設立。1978 年には「アンシエンヌ・ミューチュエル」は「ミューチュエル・ズニ（Mutuelles Unies）」へ社名を変更し、経営危機にあった損害保険会社「ミューチュエル・パリジエンヌ・ド・ギャランティ（Mutuelle Parisienne de Garantie）」をグループに加え、事業拡大を加速させました。

1980 年代：フランス国内での成長

1982 年、ベベアールは当時フランス最大の民間保険グループであった「ドゥルオー（Drouot）グループ」を買収し、「ミューチュエル・ズニ」の会長に就任しました。

1985 年、「AXA（アクサ）」というブランド名が誕生。ベベアールは保険会社の事業運営から退き、グループの会長兼 CEO となりました。

1983 年には、企業が地域社会において果たすべき役割を再確認することを目的とした経営者団体「アントルプリーズ・エ・シテ（Entreprise et Cité）」を設立しました。

1986 年 4 月、アクサはプレザンス・グループ（Présence Group）を買収。同年、企業による人道的なフィランソロピー活動を文化・スポーツ分野の支援と同様に促進することを目的とした「インスティテュ・デュ・メセナ・ユマニタール（Institut du Mécénat Humanitaire）」（現在の「IMS（Institut du Mécénat de Solidarité）」）を創設。当時、企業による人道支援への関与は大きな挑戦でした。

アクサグループはその後も拡大を続け、1988 年には「コンパニー・デュ・ミディ（Compagnie du Midi）」との合併を経て、UAP に次ぐフランス第 2 位の保険グループとなり、また同社を通じて英国第 6 位の規模を持つ生命保険会社「エクイティ & ロー（Equity & Law）」を買収しました。



また、ベベアールは同年、「マネージャー・オブ・ザ・イヤー（Manager of the Year）」に選出されました。金融業界からの受賞者としては、史上初の快挙でした。

1990年代：国際化と統合の時代

1989年末から1990年初頭にかけて、アクサは米国当局からの承認を得て、英国のコングロマリットであるBAT（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ）が所有する損害保険会社「ファーマーズ（Farmers）」の買収を目指しました。結果として買収は実現しませんでした。この経験は、グループが米国市場を理解するための貴重な機会となりました。

この経験は、後の「エクイタブル（Equitable）」の非相互化（株式会社化）および同社への投資において大きな資産となります。1991年1月に初めて接触があり、同年7月には合意に至り、アクサは米国第5位の生命保険会社を買収しました。同時に、資産運用会社「アライアンス・キャピタル・マネジメント（Alliance Capital Management）」や投資銀行「DLJ」との連携を通じて、第三者勘定の資産運用や投資銀行業務への第一歩を踏み出しました。1992年には、「エクイタブル」がニューヨーク証券取引所への上場を果たしています。

1990年には、アクサグループ各社が行っていたフィランソロピー活動を統合するため、「AXA Hearts in Action」が発足。ベベアールは、フランス国内の従業員や専属代理店との対話を経て、すべてのリソースを慈善活動に集中させ、2,000人を超える従業員や代理店のボランティアを支援しました。

1995年には、「エクイタブル」での成功事例をオーストラリアでも再現。6か月にわたる協議を経て、アクサはオーストラリア・香港における第2位の生命保険会社「ナショナル・ミューチュアル（National Mutual）」を買収しました。これにより、アジアと南半球への進出が実現しました。

1996年のUAPの買収を機に、アクサはフランス国内での規模を2倍へと拡大し、英国、ベルギー、ドイツでその地位を確立し、その他多くの国々でのプレゼンスも強化しました。ベベアールは、1年半をかけて世界各地を訪れ、グループの戦略と各チームに対する期待を自ら伝えました。

1997年、ベベアールは、当時の米国大統領ジョージ・H・W・ブッシュ（George H. W. Bush）氏より、人道的な慈善活動を行う最も模範的な企業として「Point of Light Award」を授与されました。これは、米国外の企業として初の受賞となりました。

1999年初頭には、英国の「ガーディアン・ロイヤル・エクスチェンジ（Guardian Royal Exchange）」がアクサの傘下となり、英国の損害保険と健康保険分野において確固たる地位を確立しました。また、ドイツの事業やアジア・南米での小規模な事業も取り込み、グループ全体の事業を強化しました。同年、日本で13番目の規模であった生命保険会社「日本団体生命」を買収し、世界最大の保険市場であった日本市場での事業基盤を構築しました。

2000年5月、ベベアールはアクサのマネジメントボードの議長職をアンリ・ドゥ・キャストゥル（Henri de Castries）に引継ぎ、自身は監査役会の議長に就任しました。当時アクサの総売上は800億ユーロ、顧客数は5,000万人、従業員数は世界で14万人という規模に成長していました。

2008年、以前より表明していた通り、ベベアールは監査役会のメンバーとしての任期を更新せずに退任しました。これは、彼がかねてより提唱していた「70歳を超えたメンバーの任期は更新しない」との原則を自らに適用したものでした。



その後、ベベアールはアクサの名誉会長（Honorary Chairman）を務めるとともに、2015 年以降は、自身が創設・会長を務めた独立系政策シンクタンク「インスティテュ・モンテーニュ（Institut Montaigne）」の名誉会長にも就任しました。

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019 年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険の 2 社を擁しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサグループについて

アクサは世界 50 の国と地域で 154,000 人の従業員を擁し、9,500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2024 年の売上は 1,103 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 80 億ユーロ、2024 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 8,790 億ユーロにのびります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2024 年 1 月～12 月の業績です。

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

コミュニケーション・ブランド&サステナビリティ

電話：03-6737-7200

<https://www.axa-holdings.co.jp/>
